

朝日親と子の自然環境教室 レポ

有元 康人

雨で順延になった、朝日親と子の自然環境教室のイベントは、10月24日、晴天の中開催されました。

児童14名、保護者19名、シニア自然大学校スタッフ8名、会員スタッフ20名の合計61名が参加しました。

朝9時集合でしたが、当会スタッフは早くから来て、田んぼや周辺のマムシの追い出し、会場等のカンバンや幟の設置、ヘルメットの準備等を行い、参加者を待ちました。



10時から、当イベント主催者のシニア自然大学校での開会式の進行、当会からは会長の挨拶や注意事項の説明などを行い、稲刈り体験に入りました。

11時からビオトープに集まり、鈴木さんから稲刈りの説明があり2班に分かれて稲刈りを行いました。

なれない鎌を持った子供たち、始めはぎこちない動作でしたが、すぐに慣れたのか見事に稲刈りが進んでいきました。

親御さんが設置した稲架への稲架掛けにも、子供たちは積極的に参加し、稲刈りの後半は子供たち主導で進行していました。

稲刈りは、予定時間を30分も早く終了。



12時頃から昼食、今回はコロナの影響で味噌汁、飲み物の提供はできませんでしたが、家族単位で持参の弁当を楽しんでいました。



13時から2グループに分かれ、里山体験、自然観察。ヘルメット着用して里山に入りました。

里山体験では、ブランコ、木登り、丸太渡りなど、日頃できない遊びを歓声を上げながら体験していました。

自然観察では、この里山の植生、里山の大切さとその保護と整備などの説明、マツボックリのけん玉作りなど、楽しんでいました。

最後に閉会式、各々の閉会の挨拶があり、参加者とシニア自然大学校からお礼の拍手をもらい、この日の活動を終了しました。

無事故でこのイベントが終了できたこと、喜んでいます。